



# 朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子

やさしい子

たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@city.asaka.saitama.jp

発行責任者 校長 小太刀 周

## 成長が見える言葉

校長 小太刀 周

菊薫る季節となりました。テレビでは連日、紅葉の様子が画面を賑わせ、秋の深まりを感じるようになりました。秋の夜長、本を開き、子供と一緒に文字に親しんでみてはいかがでしょう。

先日実施された朝霞市内小学校陸上競技大会では、6年生一人一人の児童が真剣にしかも最後まであきらめずに奮闘した結果、素晴らしい成績を残すことができました。特に、ボール投げの部では大会新記録を記録し、新記録賞のメダルが授与されました。「努力は裏切らない」、子供たちの満足そうな輝く笑顔が印象的でした。保護者の皆様方の御支援に感謝いたします。

ところで、『してもらう』・『してあげる』という言葉から、皆さんはどんなことを想像されるでしょうか。

### 『してもらう』

- ・洋服を買ってもらったり、遊びに連れて行ってもらったりした。
- ・文字を教えてもらった。

### 『自分でできる』

- ・字が書けるようになったり、本が読めるようになったりした。
- ・自転車や電車に一人で乗れるようになれ、何でも自分でできるようになった。

### 『してあげる』

- ・親切にしてあげたりして、人を喜ばせられるようになった。
- ・人の喜ぶ姿を見て、自分のことのようにその喜びを感じられるようになった。

そこで、例えば挨拶、家族や地域の人、先生方からの挨拶に子供たちは大きな声と笑顔を返しているのでしょうか。挨拶は、してもらうのが当たり前、自分からはしないという子供はいないのでしょうか。また、困っている人には「声をかける」、荷物を持つ人には「手を差し延べる」といったようなことができているのでしょうか。『してもらう』ことの多い時代は、まだまだ幼い子供です。しかし、これからは「自分でできる」ようにならなければならないし、自分以外の人に何かを『してあげる』人にならなければなりません。『してもらう』から『してあげる』へと成長することが大切です。

是非、御家庭でも子供たちの成長に合わせて、お話をしていただければと思います。よろしくお願ひします。